

## 境川遊水地公園ビオトープ自然環境調査業務 特記仕様書

### 1. 業務の目的

境川遊水地公園では、生物多様性の保全や治水機能維持のため、ボランティア団体等と連携しながらビオトープエリアの調査や維持管理を行ってきた。しかし、平成19年の開園から13年が経過し、ビオトープの自然環境は、通常の管理では維持できない遷移が進み、開園前後に調査が実施され管理目標等が設定された当時と比較し、樹木の増加等の課題がある。また令和元年に追加開園した今田遊水地ビオトープについては、自然環境調査や管理目標の設定等がなされていない。

当業務は、当公園ビオトープの自然環境の現況を現地調査し、これまでの調査データを補うとともに、既存資料をもとに自然環境の変化の状況等を整理し、それをもとに管理目標を見直し、今後、ビオトープを適切に保全していくための維持管理計画について検討することを目的とする。

### 2. 対象区域

県立境川遊水地公園内の俣野・下飯田および今田遊水地のビオトープを中心とした区域とする。

### 3. 期間

令和2年8月1日～令和4年3月31日

### 4. 業務概要

- (1) 調査準備
- (2) 自然環境調査
  - ア 生物相調査（陸生昆虫類・哺乳類等ほか）
  - イ 植生分布調査
  - ウ 絶滅危惧種等および特定外来種等の生育・生息状況
  - エ 浚渫影響調査（浚渫未実施および実施による生物への影響の可能性検討）
- (3) 資料調査（自然環境・管理計画・管理状況）
- (4) 報告書作成

### 5. 業務内容

#### (1) 調査準備

本仕様書に示す業務内容を確認し、業務の目的・趣旨を十分に把握したうえで作業計画書を作成する。また、現地踏査を実施し、調査地点、調査時期、調査方法の選定等の精査を行い、調査計画を策定する。

## (2) 自然環境調査

### ア 生物相調査

生物相調査として、以下の表の通り調査を実施するものとする。

調査項目	現地調査	調査方法
(1) 植物	なし	貸与する過年度データを利用する
(2) 鳥類	なし	貸与する過年度データを利用する
(3) 陸生昆虫類	3季(春、夏、秋)	任意採集法
(4) 水生生物	なし	貸与する別途委託業務成果を利用する
(5) 哺乳類等	1季(春～秋)	目撃法等、無人撮影カメラによる調査

### イ 植生分布調査

植生分布調査として、植生図作成調査及び群落組成調査を実施する。調査時期は1季(夏～秋)とする。調査結果はGISソフトで作成するものとする。

### ウ 絶滅危惧種等および特定外来種等の生育・生息状況

アの調査結果を活用し、絶滅危惧種等および特定外来種等の生育・生息状況を把握する。必要に応じて補足調査を実施するものとする。

### エ 浚渫影響調査

浚渫影響調査について、堆積状況調査資料等をもとに浚渫未実施および実施による生物への影響の可能性検討を実施するものとする。

## (3) 資料調査(自然環境・管理計画・管理状況)

資料調査として、境川遊水地公園ビオトープにおける市民団体や大学、研究機関における動植物の調査結果、既往管理計画、遊水地における維持管理状況について整理を行う。

## (4) 報告書作成

(2)、(3)の調査結果をもとに、以下の内容を報告書としてとりまとめる。なお、6. 成果品に記載する期日までに中間報告書を提出するものとする。

### ア 自然環境調査結果(資料・現地)

### イ 管理目標

### ウ 維持管理計画(長期計画・年次計画・モニタリング調査)

## (5) 打合せ協議

業務の遂行にあたり、業務着手時、中間報告時、最終報告時の計3回の打合せを行うものとし、打ち合わせの内容について議事録を作成する。

## 6. 成果品

- ・ 中間報告書 4部およびPDF等データ

※提出日は令和2年12月10日

※内容に現地調査・資料調査の中間報告、保全・管理上の課題・方向性を含めるもの

- ・ 報告書 4部およびPDF等データ
- ・ 報告書 概要版 4部およびPDF等データ
- ・ 上記に関する電子データ 1式 (GISデータ・Excelデータを含む)

## 7. 配置技術者

- (1) 管理技術者は、技術士（建設部門：建設環境）及び1級ビオトープ計画管理士の資格を有するものを配置すること。
- (2) 照査技術者は、空間情報統括監理技術者の資格を有する者を配置すること。

## 8. その他

- (1) 生物の生態等に配慮し、職員との協議・指示に従うこと。
- (2) 公園利用者に配慮し、極力、平日に作業を行うなど、計画的かつ安全な作業に心がけること。
- (3) 現地調査の際は、腕章を着用すること。